

## 二級河川小本川筋小本川水門保守点検（機械設備）業務委託 特記仕様書

### 第1条 総則

本特記仕様書は、二級河川小本川筋小本川水門保守点検（機械設備）業務委託に適用する。

### 第2条 一般事項

- (1) 点検業務の実施にあたり必要とする機器及び消耗品は、受託者の負担とする。
- (2) 受託者は、業務の実施にあたり、業務中の水門操作への支障の有無、時間等について事前に監督職員と協議し、監督職員の承認を得たうえで業務を実施するものとする。

### 第3条 業務目的

本業務は、小本川水門に設置されている機械設備について、正常な機能を確保できるよう機器の点検・調整を行うものである。

また、契約期間内の不測の事態に対応し、正常な機能の維持を図ることを目的とする。

### 第4条 業務内容

本業務の点検内容は、第10条の点検等実施項目一覧表に掲げる項目について、関係法令等に基づき保守点検業務を実施するものとする。

### 第5条 実施時間

業務の実施は原則として午前8時30分から午後5時までの間に行うものとする。

### 第6条 不測の事態への対応

受託者は、機械設備に不具合等が発生した場合は、必要な措置を講ずるほか原因究明に協力するものとし、必要に応じて再発防止のための助言、精密検査等を実施するものとする。

なお、上記に係る費用については、監督職員と協議のうえ、必要に応じて設計変更の対象とする。

### 第7条 安全対策

受託者は、作業員に対する安全管理の教育、必要な安全対策を講じ、作業中の事故が発生しないよう安全管理を徹底することとする。

また、作業時には、水門本体が自重落下しないよう扉体休止ピンにかける等、所定の安全措置を講ずることとする。

### 第8条 提出書類

受託者は、作業が終了した際は、実施報告書を2部提出するものとする。

## 第9条 水門仕様

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| (1) 形式及び構造  | シェル構造スライドゲート（巻上時ローラー） |
| (2) 純径間及び高さ | L=30.0m H=6.2m        |
| (3) 巻上形式    | 1 電動機 2 ドラムワイヤーロープ巻取式 |
| (4) 設置数     | 6 門                   |

## 第10条 点検等実施項目一覧表

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 戸当り  | 全般、主ローラーレール、補助ローラーレール、レールサポート、溶接、ボルト、ナット、敷金物、水密板                           |
| (2) 扉体   | 全般、構造全体、主桁、補助桁、スキンプレート<br>支承部全般、ローラー（主、補）スプリング、水密ゴム<br>押え金物、シーブ、給油、グリスニップル |
| (3) 開閉装置 | 電動機、電磁ブレーキ、減速機、開放歯車、軸継手、ワイヤーロープ、シーブ、ブレーキ、切替装置、給油装置、その他                     |
| (4) 塗装   | 扉体、戸当り、開閉装置、防護柵、管理橋、階段   |
| (5) 確認運転 | システム全体の機能確認  |
| (6) その他  | 上記（1）～（5）以外に受託者において気づいた点。  |

## 第11条 軽微な修繕

点検において指摘された事項の内、監督職員と協議のうえ、必要に応じて設計変更の対象とする。

## 第12条 緊急対応（津波注意報・警報時の対応）

緊急時の対応においては、水門操作者（消防団）と事前協議し、連携して対応するものとし、安全・確実に水門の閉操作が行なえるよう配慮することとする。

なお、上記に係る費用については、監督職員と協議のうえ、必要に応じて設計変更の対象とする。

## 第13条 その他

本業務における問題、質疑が生じた場合は、速やかに監督職員と協議するものとする。